

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成27年06月15日 NO.36

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

平成27年度 6月定例会

6月補正予算

ふるさと納税・神石牛

などに予算措置

6月定例会は10日から17日まで開かれ、平成27年度各会計補正予算、条例の一部改正、工事請負契約締結など17議案を審議し、原案のとおり可決・承認しました。また繰越明許費繰越計算書、平成26年度各第3セクター経営状況の報告がありました。

6月補正予算は表（総括表は次ページ）のとおりです。合計で1億405万円の増額補正となりました。

一般会計では、

○本庁・油木支所の太陽光発電設備に1550万円、
○豊松小学校グラウンド陥没の調査に1603万円、
○広島和牛産地の再構築と市場競争力強化のための取

組支援に1600万円、

○神石牛などの販売対策としてまるごと市場・182STに冷凍庫設置630万円

○ふるさと納税制度のシステム導入に424万円、

○消費税増税に伴う緩和措置としての国の臨時給付金・子育て給付金2219万円、

○自治宝くじ助成500万円（草木・小畠下阿下）

○協働のまちづくりハード分390万円、ソフト分332万円などが増額補正のおもなものです。

切田三和野球場

切田野球場への新設バックネット補強修繕に460万円が追加補正されました。（次ページへ続く）

平成27年6月補正（一般会計）

（単位：万円）四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容 （単位：万円）
議会費	▲519	10,155	議員・職員人件費
総務費	1,567	14億6,259	特別職・職員人件費▲755、太陽光システム（油木）・蓄電池（本町・油木）1,550、ふるさと納税奨励・システム導入424、自治宝くじ助成（草木・阿下）500、協働のまちづくり722
民生費	1,583	17億8,080	職員人件費▲572、臨時福祉・子育て特例給付金給付事業2,219
衛生費	▲2,006	11億2,320	職員人件費▲2,061、不燃物集積庫設置助成55
農林水産費	1,158	9億0,951	職員人件費▲859、新規就農者支援226、ライスセンター（豊松）更新403、まるごと市場（冷凍庫・POSシステム等）352、陽光の里（選果システム）619、182ST（冷凍庫・電気設備等）279、堆肥センター（来見・切田）268、広島血統和牛増産チャレンジ1,600、土地改良区補助▲245、地籍調査▲1,906
商工費	73	1億7,708	職員人件費▲173、自然公園管理運営150
土木費	1,350	7億1,019	職員人件費▲409、町道維持補修経費（井関団地内・光信古道）1,470、町道整備（高蓋日別）290
消防費	—	4億9,299	—
教育費	1,968	7億3,941	教育長・職員人件費▲1,330、スクールバス購入748、豊松小グラウンド調査等1,603、三和総合センター（空調）48、三和公民館（空調・エレベーター）101、保健体育施設管理運営経費（三和野球場・高蓋グラウンド）571
災害復旧費	—	3	—
公債費	—	14億5,927	—
諸支出金	764	4億5,326	保健医療福祉基金積立42、協働のまちづくり事業基金積立722
予備費	—	4,000	—
合計	5,938	93億9,938	—

なにがどうなる

条例改正など

おもなもの

＜条例改正＞

○マイナンバー制度に伴う町税条例条文の一部改正。

○地方税法の一部改正に伴う軽自動車税などの町税条例の一部改正。（税率の引き上げ）

○国民健康保険税条例の一部改正（賦課限度額の変更）

	平成26年度	平成27年度(改正後)
医療給付分(75歳未満)	510,000 円	520,000 円
後期高齢者支援分(75歳未満)	160,000 円	170,000 円
介護給付分(40～64歳)	140,000 円	160,000 円

＜財産の取得＞

財産の表示	(種別)町消防団デジタル無線移動局無線装置購入 (細目)デジタル無線移動局無線装置一式
取得価格	37,238,400円
相手方	三保電気(株式会社) 広島支店

＜工事請負契約の締結＞

工 事 名	公営住宅建設事業 小島住宅建替事業第1, 2期新築工事	小学校校舎等施設整備事業 来見小校舎非構造部材耐震化工事
請負金額	189,432,000円	75,276,000円
請 負 者	宮脇建設株式会社	株式会社武田組 三和支店
工 期	議決日～H29・1・31	議決日～H27・9・30

平成27年度当初予算会計別総括表

会 計 名		単位: 万円(四捨五入)		
		H27年度 当初予算額	H27年度 6月補正額	H27年度 修正後予算額
一 般 会 計		93億4000	5938	93億9938
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	12億5380	755	12億6135
	後 期 高 齢 者 医 療	4億0400	198	4億0598
	介 護 保 険	18億9450	3392	19億2842
	簡 易 水 道 事 業	2億5100	62	2億5162
	飲 料 水 供 設 事 業	3940		3940
	農 業 集 落 排 水 事 業	2億5150	53	2億5203
	分 収 育 林 事 業	5		5
	総 合 開 発 事	2840	7	2847
	特別会計計	41億2265	4467	41億6732
病 院 事 業 会 計		2億9711		2億9711
合 計		137億5976	1億0405	138億6381
特別会計+病院事業会計		44億1976	4467	44億6443

(前ページより)
町道 高蓋日別線

また、今年度中の完成を目途に、設計変更などで町道・高蓋日別線に290万円が追加補正されました。

特別会計では、国民健康保険特別会計において財政調整基金に868万8千円が積立てられました。



H27.6.30 小島住宅建設安全祈願祭

第三セクター奮戦中

平成26年度決算

平成26年度第3セクターの決算報告がありました。農業公社、スコラを除き前年度と比べ売上高は減少しています。

さんわ182ステーション、福山にある直販公社

さんわ182ステーション 売上明細表					単位:万円		
					売上		
市	場	売	上	高	2億6,564		
売	店	売	上	高	2,505		
軽	食	売	上	高	986		
自	販	機	売	上	925		
そ	の	他	売	上	162		
ロ	ー	ソ	ン	売	上	高	1億2,850
合 計					4億3,992		

まるごと市場、農業公社ともに黒字決算となりましたが、他の2社は赤字決算となっています。

百彩館は、果物など新商品の品ぞろえやイベントを積極的に売り上げアップ

対策を講じましたが消費税増税、ガソリン価格の高騰、天候不順の影響が客足が思うように伸びず売上減、赤字となった。補助金収入は118万円。店舗の独自性を持たすことが必要と思う。

まるごと市場は、店舗販売は横ばい、店外販売は不

採算の本通り店舗の閉鎖等により減少した。

手数料を25%にアップしたため、地代を店舗で336万円、店外ブースで183万円支払っているにも関わらず税引き前で288万円の利益を確保した。別枠での地代600万円を加えると全体での赤字体制は変わらない。

しかし、2億円を超える神石産農産物の販売、最前線基地としての情報発信の役割などを考えると重要な店舗である。補助金収入は450万円。

農業公社はトマト、作業受託の減を収穫・育苗事業、農業生産、公共施設管理収入等でカバーし若干の増収となった。

スコラは冬期の来客数の減、交通費の値上げが原因か春の関西圏からの合宿の減などが影響し苦戦したが、各種イベント・グラウンドゴルフ等の企画により売上高は若干の増(0.6%)となった。

しかし、消費税増税、物価の上昇による経費の増(一般管理費255万円の増)、緊急雇用等の特別補助金の減等が要因で307万円の赤字となった。

新規集客のため、観光協会などの連携強化による観光ルートの拡充や、来客を売上に結び付けるための受け皿づくりの工夫も必要と思う。

また、施設はかなり老朽化しており指定管理の在り様も再検討すべきだ。

さんわ182ステーションは、消費税・ガソリン価格の高騰・週末の天候不順等の影響で来客数・売上ともに約5%の減となった。

平成23年8月の「ローン」や「高原の風レストラン」の開業により相乗効果で売上がローンの売上を含み4億円を突破して以来、昨年まで順調に増加傾向にあったが、本年度軽食・ローン部門(約1%増)を除き4~9%減少した。

税引き前利益132万円を計上した。町や県からの委託・補助金は約350万円。

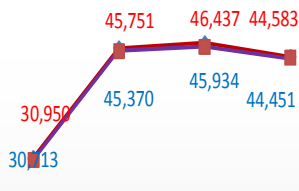
ローンについては、3年を経過しましたが、経営収支は、開店初年度の状況とあまり変わりがないかと思われます。

年を通しての経営収支は厳しく、人件費の削減、商品の発注・品揃えが今後の課題とのことです。

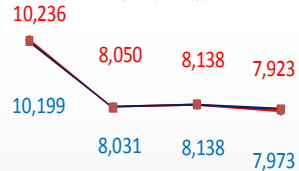
単体での決算報告が無いので憶測ではありますが、せんが、かなりの赤字運営となっているのではないかと考えられます。

赤字部分は他部門からの補填となりますので、地域に密着し、町内外の皆さまに大変喜んで頂いているとの事ですが、今後検討の余地ありではないでしょうか。

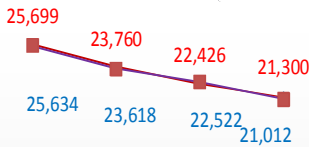
(有)さんわ182ST



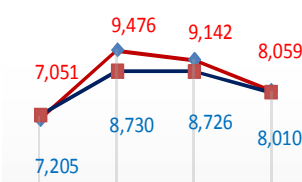
(有)油木特産販売
百彩館



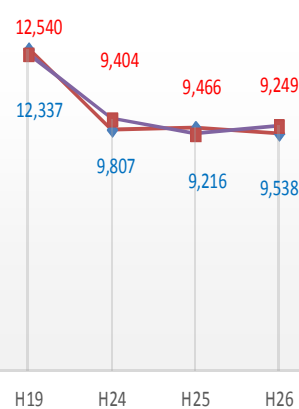
(有)神石高原直売公社
まるごと市場



(株)神石高原農業
公社



(株)帝釈峡スコラ



* 表の見方 単位:万円
上段の数値: 総収入
下段の数値: 総費用

神石高原ティアガルテン・オープン

「仙養ヶ原森林公園」が新たに生まれ変わる



用による公共施設整備促進法」に基づきPFI事業として実施するもので、民間業者として株式会社仙養ヶ原ティアガルテン（代表河相道夫）に委託するものです。

整備事業は1〜3期に実施され、事業費は1期目（H26）1億2600万円、まきばの夢工房・駐車場・牧場・遊具・全体の修景整備など、2期目（H27）1億2000万円、シヨップ&レストラン・ガーデン・天文台・高原ハウスなどな整備改修が行われます。

事業者の収入は、指定管理料（1213万6千円／年・10年間）と施設使用料徴収、施設内利用料収入となります。

平成27年7月4日、「仙養ヶ原ティアガルテン」が新たにグラウンドオープンしました。

仙養ヶ原森林公園が「人と動物、自然との共生」をメインテーマに「命を慈しむ」場所を目指す観光コミュニティパーク・自然体験型公園として再開発されました。くつろぎの場とし

この、仙養ヶ原公園整備事業は、「民間資金等活

多くの観光客誘致の計画であり、産物市場や観光消費増など地域が活性化し、新規雇用確保、高原ファン増加などにつながります。是非とも成功して頂きたいものです。

「神石牛」をみんなで応援しよう



本年3月29日、「神石牛」のブランド認定が行われ、同日、道の駅182STにて盛大に発表式が開催されたのは周知のとおりです。

神石牛は全国和牛能力共進会で優等賞主席（第4回）金賞主席（第6回）を獲得し、種牛・肉質両面で日本一となり神石牛といえ、広島県産牛の代名詞でしたが、昭和50年代広島県としては、種牛生産が主体で他県に比べ肥育牛の生産が遅れており、肥育牛生産拡大のため昭和60年前後「比婆牛」「神石牛」を交配し育種圏の統一を行い「広島牛」ブランドを推進してきました。

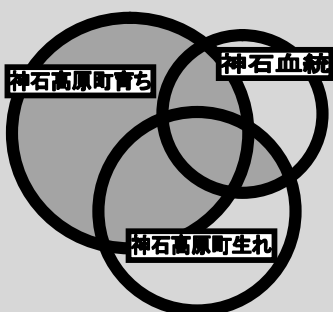
しかし、「広島牛」食肉市場での価格は全国ブランド（神戸牛など）に比べ各ランクとも安値のうえ、消費者の県内和牛消費量は量販店では県内産が1/4程度で、供給量の確保や他県産との差別化が課題でした。

私も「神石牛ブランド化」で全国

制覇をと一般質問（H23・12・HP参照）しましたが、広島県も県産和牛肉の販売力強化のため「広島県和牛血統承認要綱」を策定しました。

県産和牛のブランドは、肉質ブランドとして「広島牛」、血統ブランドとして「元就（全農）」「比婆牛（JA庄原）」「神石牛」と成りました。

平成3年からの牛肉輸入自由化、TPP交渉など輸入牛肉との競争力強化対策としても神石牛ブランド化は積年の課題でした。神石牛振興協議会の総会では、血統の確立・出口対策の重要性など指摘されましたが、「神石牛」という歴史の財産を生かすことが大事との発言もあり、私もそのとおりだと思えます。町民みんなで応援して行くことが大事です。



神石牛：神石高原町育ち（神石血統ならば本町生れ・県内育ちも対象）肉質3以上歩留まりB以上